

新技術研究成果証明書

研究名称：流出解析モデルに関する研究

(成果証明書番号 第17009号)

研究成果品：「流出解析モデル利活用マニュアル」 2006年3月

研究者：日本水工設計株式会社

(研究の目的)

本研究は、総合的な浸水対策や合流式下水道改善対策の解析・検討を計画的かつ効率的に行うため、「流出解析モデル利活用マニュアル」をより使いやすく応用性の高いマニュアルへ改訂することを目的とする。

(研究の内容)

本研究では、全国自治体からのマニュアルに対する要望や意見および浸水対策に求められる新たな課題等を踏まえて、以下の内容を主体に検討し、マニュアルの改訂を行った。

- (1) 浸水シミュレーションに必要となる氾濫解析モデルについての記述と事例紹介の新規追加
- (2) 汚濁負荷量解析に関する留意事項等解説の充実
- (3) 浸透施設等のモデル化に関する記述の充実
- (4) 近年の実績を加味した歩掛の見直し

(研究の期間)

平成17年7月から平成18年3月まで

(研究の成果)

本研究の成果品であるマニュアルを活用することで、下水道や都市河川等の能力診断、浸水対策や合流改善対策立案といったハード対策への利活用にとどまらず、ハザードマップ等、自助を支えるための情報提供等のソフト対策にも利活用でき、総合的な雨水対策の検討が可能であることを確認した。

(共同研究者)

本研究は、財団法人下水道新技術推進機構と下記の9社による共同研究である。

オリジナル設計株式会社	国際水道コンサルタント株式会社	株式会社三水コンサルタント
株式会社東京設計事務所	中日本建設コンサルタント株式会社	株式会社日水コン
日本上下水道設計株式会社	日本水工設計株式会社	日本理水設計株式会社

財団法人下水道新技術推進機構に設置された技術委員会において厳格なる審議を行った結果、本研究は上記の研究成果を確認できたことを証明する。

2006年6月1日

財団法人 下水道新技術推進機構

理事長 松井大悟

